

## 学校の主な沿革

明治 5年		大野、寺井両村が合併し、村長長尾又太郎邸宅に学校を設立する。
明治 6年		寺井村と分離し、浅野村と合併し、 <b>久保学校</b> と称する。
明治18年		寺井宮西小学校と合併し、 <b>精理小学校</b> と称する。
明治20年	4月	教育令改正に伴い、 <b>大野尋常小学校</b> と称する。
昭和12年	4月	<b>大野尋常高等学校</b> と改称する。
昭和16年	4月	<b>大野国民学校</b> と改称する。
昭和20年	4月	<b>大野小学校</b> と改称する。
昭和30年	4月	大野・浅野・川東村の3つの村が合併して香川町が発足。 大野小学校を <b>香川町立大野小学校</b> と改称する。
昭和62年	12月	創立百周年記念式典を行う。
平成18年	1月	高松市に合併し、 <b>高松市立大野小学校</b> と改称する。



「撮影日時不明」



「1986. 10. 24撮影」



「1999. 7. 9撮影」

本校区は、高松市南部にあり、新空港の開港に伴い幹線道路も整備された国道193号線が校区のほぼ中央を走り、交通量も多い。学校周辺には大規模店舗が、香東川沿いには中小企業が進出し、校区は大いに発展しています。

現在、高松市のベッドタウンとして人口も安定し、高松市の中心部への野菜・果樹の生産供給地としても大きな役割を担っています。地域の重要な産物である大野まめは全国的に有名です。旧来から教育文化活動に大変熱心な土地柄であり、地域の人々の学校に対する想いは厚く、期待も大きいものがあります。

今年で、創立135年目を迎えた大野小学校は、全校児童412名、教職員数36名（令和4年4月1日現在）でスタートしました。



「2019. 10. 11 撮影」

令和という新しい時代を背負うべき子どもたちが、大野という地域で過ごすことの素晴らしさを感じながら、教育目標「自分・人・地域を愛する大野の子どもを育てる」に向かって成長できるように、全職員で指導・支援をしていきます。保護者の皆様や地域の皆様のお力添えをいただきながら、学校・家庭・地域が一つになって大野小学校を推進していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

令和5年4月 高松市立大野小学校 教職員一同



大野小学校キャラクター「まめクイーン」と「まめキング」